※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０２

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	1	「Harmony English Logic and Expression」（いいずな書店） 「高校総合英語 Harmony New Edition English Grammar23」（同） 「高校総合英語 Harmony New Edition English Grammar23 WorkBook」（同） 「高校総合英語 Harmony New Edition 」（同） 「必携英単語　LEAP Basic 」(CHART INSTITUTE)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理・表現Ⅰの授業は、コミュニケーション能力という観点から、英語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う授業です。文法は、英語でコミュニケーションを行う場合に必要な、最も基本的な要素の１ つです。しかし、文法のルールを知っていても、それだけでうまくコミュニケーションがとれるとはかぎりません。円滑なコミュニケーションを行うためには、相手を理解しようとする態度を示し、実際の状況にできるだけ合致した言い方や応答の仕方を工夫することが大切です。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵や写真などを参考にしながら理解することができる。	・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。 ・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵や写真を参考にしながらあらすじを理解することができる。 ・身近な事柄について簡単な英語で書かれたごく短い説明を読み、挿絵や写真を参考にしながら概要を理解することができる。	・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	習得すべき知識や重要な概念を理解している。それらを習得済みの知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、場面や状況に応じて使い分ける技能を習得したりしている。	外国語の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson 1 Meeting New People Lesson 2 Last Weekend Lesson 3 Weekend Plans	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 友人の現在のことや先週にしたこと、週末の予定について必要な情報を聞き取っている。 c: 友人の現在のことや先週にしたこと、週末の予定について必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業観察 発話評価
		読むこと	a: 時制に関する表現を理解する。 b: 自分の家族について書かれた短い説明文を読んで概要をとらえている。 c: 自分の家族について書かれた短い説明文を読んで概要をとらえようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 助けがあれば、動詞の現在形や過去形、進行形、未来形を用いて話すことができる。 b: 自分の身近な人や習慣、過去や予定について基本的な語句や文を用いて発表している。 c: 自分の身近な人や習慣、過去や予定について基本的な語句や文を用いて発表しようとしている。	発話評価
		書くこと	a: 助けがあれば動詞の現在形や過去形、進行形、未来形を用いて書くことができる。 b: 他の人に伝えるために簡単な文を用いて書くことができる。 c: 他の人に伝えるために簡単な文を用いて書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	Lesson 4 A Short Trip Lesson 5 School Rules Lesson 6 Are You All Right? Lesson 7 Things Japanese	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 身近なものを紹介し、推測や禁止の表現を取り入れた話題について、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近なものを紹介し、推測や禁止の表現を取り入れた話題について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業観察 発話評価
		読むこと	a: 経験や許可･禁止、推測やさまざまなものを紹介する際に用いられる表現を理解し整理する技能を身に付けている。 b: 経験や許可・禁止、推測やさまざまなものを紹介する際に用いられる表現を理解し英文の内容が読み取れている。 c: 経験や許可・禁止、推測やさまざまなものを紹介する際に用いられる表現を理解し英文の内容が読み取ろうとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 助現在完了形や動詞、受動態に関する文法事項を理解できる。 b: 助けがあれば助現在完了形や動詞、受動態に関する文法事項を用いて、伝え合うことができる。 c: 助けがあれば、助現在完了形や動詞、受動態に関する文法事項を用いて、伝え合おうとしている。	評価
		書くこと	a: 経験や許可･禁止、推測やさまざまなものを紹介する際に用いられる表現を理解している。 b: 日常的な話題（学校生活や日本文化など）について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 日常的な話題（学校生活や日本文化など）について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
2 学期	Lesson 8 Talking about Dreams Lesson 9	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 健康やテクノロジーについて話された説明を聞き、必要な情報や要点をとらえている。 c: 健康やテクノロジーについて話された説明を聞き、必要な情報や要点をとらえようとしている。	授業観察 発話評価

※令和４年度以降入学生用

	To Keep Fit Lesson 10 Our Future Devices Lesson 11 Talking about Likes and Dislikes	読むこと	a: 不定詞や動名詞の意味や働きを理解し、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 将来の夢や健康的な生活、テクノロジーについて書かれた文章を読んで、要点をとらえている。 c: 将来の夢や健康的な生活、テクノロジーについて書かれた文章を読んで、要点をとらえようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 不定詞や動名詞の意味や用法について理解している。 b: 助けがあれば、自分の趣味や将来の夢について簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。 c: 助けがあれば、自分の趣味や将来の夢について簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。	発話評価
		書くこと	a: 不定詞や動名詞の意味や用法について理解している。 b: 助けがあれば、自分の将来や趣味について簡単な語句や文で書くことができる。 c: 助けがあれば、自分の将来や趣味について簡単な語句や文で書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	Lesson 12 Reporting Something Unusual Lesson 13 Being in Trouble Lesson 14 Great Achievements Lesson 15 What's SDGs	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: トラブルの説明や人物・場所の説明に関する文を読んで概要が理解できる。 c: トラブルの説明や人物・場所の説明に関する文を読んで概要が理解しようとしている。	授業観察 発話評価
		読むこと	a: 分詞や関係代名詞、関係副詞の意味や働きを理解し、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: トラブルの説明や人物・場所の説明に関する文を読んで要点をとらえている。 c: トラブルの説明や人物・場所の説明に関する文を読んで要点をとらえようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 分詞や関係代名詞、関係副詞の意味や働きを理解している。 b: 助けがあれば、修理の依頼や人物・場所の説明について簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。 c: 助けがあれば、修理の依頼や人物・場所の説明について簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを行おうとしている。	発話評価
		書くこと	a: 分詞や関係代名詞、関係副詞の意味や働きを理解している。 b: 助けがあれば、他の人に伝えるために修理の依頼や人物・場所の説明について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 助けがあれば、他の人に伝えるために修理の依頼や人物・場所の説明について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
３学期	Lesson 16 Climate Change Lesson 17 Food Waste Lesson 18 Water Problem	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b: 比較表現や仮定法の意味や働きを基に、社会問題（国家間の比較やごみ問題など）について話された文を聞き、必要な情報や要点をとらえている。 c: 比較表現や仮定法の意味や働きを基に、社会問題（国家間の比較やごみ問題など）について話された文を聞き、必要な情報や要点をとらえようとしている。	授業観察 発話評価
		読むこと	a: 比較表現や仮定法の意味や働きを基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 社会問題（国家間の比較やごみ問題など）について書かれた文章を読んで、要点をとらえている。 c: 社会問題（国家間の比較やごみ問題など）について書かれた文章を読んで、要点をとらえようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 社会問題のデータを比較し、別の立場から世界の課題について論じる表現を身に着けている。 b:助けがあれば、社会問題について、自分の考えを簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。 c: 助けがあれば、社会問題について、自分の考えを簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。	発話評価
		書くこと	a: 社会問題のデータを比較し、別の立場から世界の課題について論じる表現を身に着けている。 b: 助けがあれば、社会問題について自分の考えを論拠やデータに基づいて簡単な語句や文で書くことができる。 c: 助けがあれば、社会問題について自分の考えを論拠やデータに基づいて簡単な語句や文で書こうとしている。	定期考査

※令和４年度以降入学生用

	学年末考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度